

広告

7/30(木)～8/2(日)、ニューあかしや町内会防災部ではラジオ体操の後、子どもたちに向け防災教室を企画しました。講師を務めたのは「石狩市防災マスター」の飯田鉄蔵さん。地震や津波、大雪や避難所などについて説明し、「これをきっかけに家族の間で少しでも防災に関する話をしてもらえれば」と期待を寄せていました。



平成26年度 石狩市防災マスター認定式の様子



防災

Disaster Prevention

9/1 防災の日 住民同士が力を合わせて防災対策 地域の防災リーダー「石狩市防災マスター」

市では、地域の防災リーダーとして、防災活動の中心的な役割を担っていただける方を「石狩市防災マスター」として認定しています。平成26年5月にスタートした制度で、現在15人の方が活躍しています。

「石狩市防災マスター」は、市と連携しながら、町内会や自治会が行う防災訓練や講習会の運営を補助したり、これまでの経験や知識を活かして地域で防災教室を開くなど、地域の防災力向上のために積極的な活動を展開しています。

もちろん、市民の皆さんも「石狩市防災マスター」になることができます！「防災の知識はあるけれど、活用する場面がない」「万が一に備えて、防災のことを学びたい！」と思う方は応募してみてください！がでしょうか。

「石狩市防災マスター」になるには、「防災士」や「北海道地域防災マスター」などの資格が必要です（北海道地域防災マスター認定研修は毎年実施）。その上で、市の認定を受けることに同意していただければ「石狩市防災マスター」になることができます。

なお、「石狩市防災マスター」になると、月2回ほど研修会があり、地域の防災リーダーとして知っておきたい情報を得たり、消防署などでの実地研修に参加できます。ぜひ興味のある方は総務課危機管理担当までご連絡ください！

